

# 私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

## 2014(26)年 週 報

3月 2日

「力と聖霊と強い確信」  
( I テサロニケ連続講演第二回)

第1聖日  
3341号

### 聖 言

なぜなら、私たちの福音があなたがたに伝えられたのは、ことばだけによったのではなく、力と聖霊と強い確信とによったからです。また、私たちがあなたがたのところで、あなたがたのために、どのようにふるまったかは、あなたがたが知っています。

I テサロニケ1:5

#### 魅力ある教会

常識的にいって教会は魅力がありません。その証拠に教会はガラガラです。時代錯誤、説教に魅力がない。未信者は信仰にアレルギー反応を起こしている。と様々な要因が考えられます。しかし、忘れていけないのは、最初の教会は今よりも迫害的でした。その中で彼らはある時から変わりました。そして教会はいつも人々が押し寄せてきました。世の中におもねったからでしょうか。世的な催しをしたのでしょうか。この世受けをするプログラムをしたのでしょうか。そうではありません。彼らは聖書を読みました。彼らは神によって罪のこの世から選ばれ、救い出されたことを体験しました。御子が人間を罪と死から救い出すために、人間として生まれくださったことを信じたのです。そして十字架の上で罪の贖いを成就して三日目に復活してくださいました。この事実を世界に知らすために神に選ばれたことを確信したのです。聖霊の注ぎを体験しました。それを毎日教会で語り続けたのです。彼らは家にいるより教会に来て、聖書を調べ、説教を聞き、祈り、聖餐を行いました。この世にない喜びと聖霊による慰めに満ち溢れたのです。そこには罪の赦しがありました。悔い改めがありました。義認の確信がありました。聖霊による聖潔の生活が満ちていました。教会のリバイバルは使徒時代のように信者の信仰が回復される時始まるのです。私たちの教会が新約の教会を現代にはじめられるとき、可能となるのです。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

[minoru\\_yamamoto@hotmail.co.jp](mailto:minoru_yamamoto@hotmail.co.jp) メール [m7-inoru@ezweb.ne.jp](mailto:m7-inoru@ezweb.ne.jp)

二〇一四年二月三日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「恵みと平安」

(二テサロニケ連続講演第一回)

「パウロ、シルワノ、テモテから、父なる神および主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。恵みと平安があなたがたの上にありますよように。」(一テサロニケ一ノ一)

今まで紺本先生の説教を参考にしていました。しかし、今後の教会を考える時、教会とは説教とは、これは牧師の問題でなく、教会員各自が考えることであると示され、テサロニケの手紙が相應しい。なぜなら、本書簡は紀元五〇年に新約で一番最初に書かれたものである。三回の安息日にわたり語って建てられた教会である。パウロはテサロニケ教会に使徒という名を書かなかつた。それほど信者と溶け込んでいた。その教会には常に父なる神と主イエス・キリストが臨在していることを信じていた。この教会こそ現代の私たちの教会の模範の教会である。

二〇一四年 二月二六日午後七時 祈禱会 山本牧師

「昔と今」

「ああ、金は曇り、美しい黄金は色を変え、聖なる石は、あらゆる道ばたに投げ出されている。純金で価値みされる高価なシオンの子らは、ああ、陶器師の手で作られた土のつぼのようにみなされている。」(哀歌四ノ一、二)

哀歌は三章をクライマックスとして一、二章は登り、三章は頂点、四、五章は下りという構想。しかも各章はヘブル語のアルファベット順に二節にまとめられ、中心の三章は二節の三倍の六六節となっている。二章の叙述は四章は詳細に表している。

## 宣教⑩

第三課 歴史の主人公になられた神

—世界宣教の歴史—

三、五、二 近代宣教の新星として登場した

b) モラヴィアン教徒の信仰信条

主の大宣教命令に完全に従い、キリストが苦難を受けて死なれたように、自分たちもどんな苦痛にも耐えるべきだというのが彼らの信仰信条だった。彼らにとって宣教は特別な召命を受けた少数の者だけに委ねられたものではなく、教会全体の義務として認識していた。

c) 後世のプロテスタント教会への影響

モラヴィアン教徒はヨーロッパのリバイバルと宣教運動に多大な影響を与えた。ジョン・ウエズレーは大西洋の荒波にも動じないモラヴィアン教徒の影響を受け、彼らから霊的大覚醒を可能とするインスピレーションを得た。ジョージ・ホウイットフィールド、ウイリアム・ケアリーらもモラヴィアン教徒の信仰に感銘を受けた。

三、五、三 宣教の父ウイリアム・ケアリーと宣教組織の出現  
モラヴィア教徒たちの驚くべき宣教活動に大きな影響をうけたイギリスのウイリアム・ケアリー(一七六一〜一八三四)は主の大宣教命令に従うことを決意し、イギリス国教会を説得したが宣教に対する無知に拠って実現できなかった。しかしケアリーはあきらめず、一七九二年に海外の異教徒に対する宣教の実現の可能性とそれに必要な組織を活用すべきことを力説した小冊子を作り、その小冊子が現代宣教の出版を告げることとなった。「現代宣教の父」と呼ばれるケアリーは一七九三年に宣教師としてインドに派遣され、約四〇年間同労者とともに聖書翻訳

や福音伝道、インド社会の悪習の打破、大学設立など多岐に渡る働きを行った。最初の七年間は一人の改宗者も得られなかったが、後に約六〇〇人のインド人を救いに導いた。ケアリーの最大の貢献は、宣教のために様々な組織と手段を用いるべきことを力説し、それを最初に試みた点である。

(ワイ・ミッションより)

**第十四回癒し五〇日連続祈禱**

一月六日(日)～三月一六日(日)

午後一時～午後二時半

祈りの後、楽しいティーで休憩

場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)

**二四時間祈りは教会と世界を変える(前回)**

二四時間連続祈禱の勇者を求める

時間	氏名	時間	氏名
午前〇時		午後〇時	庄司姉
1		1	
2	守屋姉	2	
3	西田潔嗣師	3	
4	足達師	4	
5	守屋姉 山本師	5	
6	足達美和師	6	
7		7	小段姉
8		8	山本師
9	尾瀬姉	9	榎原姉
⑩		⑩	榎原兄
⑪		⑪	

李姉、野上姉、小村姉、大内姉、片山姉は時間は決めていませんが、適当な時間に祈ります。

※ まだまだ、場所があいておりません。時間帯がかさなっても構いません。教会に力が漲るのは祈りの聖徒の出現です。是非祈りの申し込みをお願いします。係 庄司、尾瀬